

七夕市民まつり開催に思う

市長 明智忠直



旭市の三大祭り「袋公園桜まつり」「いいおかYOU・遊フェスティバル」「七夕市民まつり」。今回、57回を数える七夕市民まつりが開催されることになりました。

3.11東日本大震災は各地に大きな傷跡を残しました。この旭市でも多くの犠牲者が出ました。住家被害では、津波・液状化などで3,300戸余りの建物が損害を受けてしまいました。その上、いまだ先の見えてこない福島第一原発事故。市民の皆さんにとっても苦悩の日々が続いていることと思います。市は今、市民の皆さんの協力を得ながら、復興へ向けての最大の努力をしているところであります。震災から3か月、全国から、そして世界各地から励ましの言葉や義援金など、多くのご厚情を受け、旭市にかけがえのない勇気・元気・頑張りを与えてくださっているものと、心より感謝を申し上げる次第です。

こうしたたくさんの応援の中「旭市も自ら復興へ前向きに進んでいかなければ」と、実行委員会が今年

の七夕市民まつりの実施を決断しました。あまりにも大きな被害であったため、震災以降、多くの行事が中止になりました。しかし今、全国でも地域を元気付けようと、復興への思いを結集して、祭りの実施に踏み切ったところが多くなってきました。旭市でも、この七夕市民まつりを市民みんなの力でつくり上げ、そして被災から立ち直る元気、絆を築いてほしいと強く願っております。

「のぼる旭 祈りを込めて」が今年のテーマだそうです。少しずつマンネリ化し、沈滞ムードのあった祭り……。「全員で祭りを盛り上げよう、そして復興のシンボリックな行事にしよう」という雰囲気市民の間でつくられつつあると聞いております。

千年に一度といわれているこの震災——。市民の皆さんが、3月11日以前の明るい笑顔を取り戻せるよう、私も「ひとが輝き 海とみどりがつくる健康都市“旭”」に向かって、勇気を持って頑張っていきたいと思う日々であります。